

令和6年度 宮崎工業高等学校 全日制 学校関係者評価

1 教育目標

校訓「努力」・「誠実」・「創意」の具現化を図り、豊かな人間性と礼節を身につけ、健康でたくましい身体をつくるとともに、専門的知識・技術の基礎・基本を習得した、科学技術の高度化や技術革新に対応できる工業人材を育成する。

2 教育方針

(1)本県工業高校のフラッグシップ校として、その伝統や校風を継承するとともに、科学技術の高度化や技術革新に対応できる実践的な知識と技術を身につけた、地域社会に貢献できる工業人材を育成する。

(2)校訓「努力・誠実・創意」のもと、学習活動や部活動を通して確かな学力と礼節を身につけた心身共に健康でたくましい、次世代を担う気概溢れる人材を育成する教育を目指す。

(3)地域産業界・行政・大学等との連携を図りながら開かれた教育課程を推進し、学びの軸をキャリア教育で支えながらデュアルシステムや課題研究等の教育活動に取り組む中で自己実現を図る教育を展開する。

3 スローガン

「宮工PRIDE 夢実現!」

重点目標	自己評価	関係者評価
1 豊かな人間性の醸成	2.85	3.00
2 確かな学力の育成	2.91	3.00
3 キャリア教育の推進	3.40	3.40
4 モノづくり教育の充実	3.33	3.40
		総合評価
		3.16

評価委員による学校への意見・要望等

今回の議題の中心にあった、職員の時間外労働については、月当たり80Hを超えている職員が約12%おられるということで、企業でいえば過労死レベルに相当するところであり、危険であると感じました。当社のような企業であれば法定労働時間を超過した場合には、職長より超過理由と対応策を提出してもらって課員の時間外管理を行ってもらっています。学校での取り組みでは中々難しいところではあると思いますが、業務分担など改善にむけて引き続き取り組んで頂ければと思います。会議資料など資料作成ツールを利用してペーパレス化を図っておられたり、求人票管理システムを取り入れるなど積極的にIT活用にも力をいれておられるのも、教育や学習の活性化に繋がっていると思います。来年の活動も期待しております。

様々な取り組みがなされていること、先生方のご尽力に頭が下がる思いをしています。学校教育の在り方が、変化してくる中で、どのように人間的成長を図っていくか。学校内で言えば、対話（生徒同士、先生と生徒など）と読書、そして学校外との関係づくりにあると思っています。それらの取り組みに、限られた時間の中で取り組んでおられることが分かりました。

今年で2年目の学校評議委員をさせていただきありがとうございます。

次年度も引き続き宜しくお願いいたします。

要望として、評価項目と取組施策の連鎖が解る様に次年度はお願い申し上げます。

施策の連鎖が解らないどの項目の内容なのか？を読み取るに時間を要しますので、宜しくお願いいたします。